議員活動自己検証シート（公約の取組）　令和7年度

会派名	日本共産党
期数　（議員歴）	3 期　（ 10 年）

議員名	検証項目（10項目）	所属委員会 等
伊藤　芳則	【検証値の捉え方】 1年間の議員活動・取組内容について・・・・・ ➡「ほぼ満足している」＝ ”A” 1.0 ➡「さらに努力する余地があると思う」＝ ”B” 0.5 ➡「思ったような取組ができていない」＝ ”C” 0	総務常任委員会　委員長 予算決算常任委員会

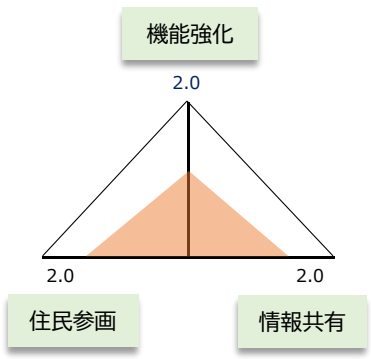
公約を検証する背景（根拠）	議会基本条例前文「市民の代表として選ばれている議員は，市民の負託にこたえる責務を負っている」／21条「この条例の目的及び趣旨の達成状況について検証を行う」
検証の対象／分野	議会基本条例第４条　議員活動の原則／議会活動の活発化「住民参画」「情報共有」「機能強化」分野の取組について（早稲田大学マニュフェスト研究所文献引用）
検証方法	「公約」について，成果如何に捉われず，その実現に繋がる年間の議員活動・取組内容を自己検証する（本シートに記載する公約内容は自由選択：重複可）

議会基本条例第４条（議員活動の原則）

❶ 【情報共有】【住民参画】選挙によって選ばれた市民の代表であることを自覚し，市政の課題全般について市民の思いを的確に把握し，市民全体の福祉の向上をめざすこと。
❷ 【機能強化】議会が言論の場であること，及び合議制機関であることを認識し，議員相互間の自由な討議を重んじること。
❸ 【機能強化】日常の調査及び研修活動を通じて自らの資質の向上に努めること。
❹ 【機能強化】地方自治の本旨にのっとり，政策，条例，意見書等の議案を提出する努力をすること。
❺ 【機能強化】【情報共有】市政の課題に関する論点を市民に明らかにするため，一般質問を一問一答方式により行うこと。

（公約1）くらし・福祉・教育の充実

国民健康保険税の値上げに反対

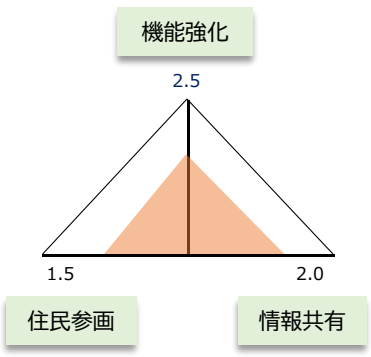


		検証	1年間の主な活動・取組内容，または，取り組めなかった事項と理由　等 注）検証に繋がる活動等，成果等（事業の見直し等）を記入すること。
住民参画 3point	(1) 住民や地域との積極的な対話（ニーズの把握）	A	「物価高騰の中で国保税の負担が重すぎる。何とか生活を守ってほしい。」という住民の切実な声を対話を通じて聞き取った。
	(2) 地域と行政・関係機関がツナガルための助言・支援	B	
	(3) 住民自治組織活動や地域活動など，まちづくりへの参加・実践	B	
情報共有 3point	(4) 現場調査・現状確認，聞取り，先進事例等の調査研究活動	A	県で統一化するためと値上げが続いている。基金もなくなりさらに負担増につながっていくことになると質問してきた。また県内の他の自治体の議員と共同で県に対して要望書の提出をした。
	(5) 住民の疑問や地域の意見を反映した本会議や委員会での発言・行動	B	
	(6) 地域等における報告会の開催やSNS，チラシ・広報誌等による情報発信	B	
機能強化 4point	(7) 一般質問等による政策や事業改善の提案	B	一般質問等で負担軽減策を一貫して追求したが、いまだに実現には至っていないため、今後も市民の声を受け、粘り強く見直しと負担軽減を求めていく。
	(8) 議員間討論への積極的な参加，会派内での情報共有の徹底	B	
	(9) 各種計画書の分析，条例等との照らし合わせや既存制度との比較検討	B	
	(10) スキルアップのための研修会・勉強会等への参加	B	

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	値合計
1.0	0.5	0.5	1.0	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	6.0

（公約2）農業を守る

地域農業を守る。価格保障・所得補償の確立を求めます。

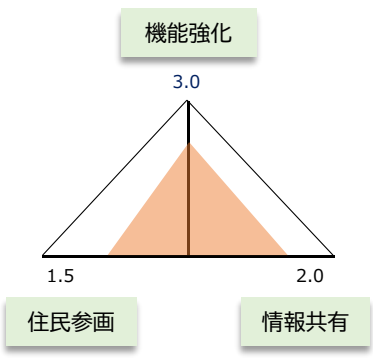


		検証	1年間の主な活動・取組内容，または，取り組めなかった事項と理由　等
住民参画	(1) 住民や地域との積極的な対話（ニーズの把握）	B	物価高騰や高齢化により日々の営農が困難になっている農家の現状に寄り添い、小規模農家への農機具購入費補助を望む声等、切実な支援ニーズを把握した。
	(2) 地域と行政・関係機関がツナガルための助言・支援	B	
	(3) 住民自治組織活動や地域活動など，まちづくりへの参加・実践	B	
情報共有	(4) 現場調査・現状確認，聞取り，先進事例等の調査研究活動	A	集約で大型化するばかりでなく、現在営んでおられる小規模農家への支援の必要性を広く発信するとともに、既存の支援制度に関する情報（広報）が一部にしか届いていない課題を確認した。
	(5) 住民の疑問や地域の意見を反映した本会議や委員会での発言・行動	B	
	(6) 地域等における報告会の開催やSNS，チラシ・広報誌等による情報発信	B	
機能強化	(7) 一般質問等による政策や事業改善の提案	A	一般質問で小規模農家への支援を強く求め、一部で農機具購入への支援を実現させた。議会内での討論は一人会派でできないため、他の自治体の議員等と協議を重ねた。
	(8) 議員間討論への積極的な参加，会派内での情報共有の徹底	B	
	(9) 各種計画書の分析，条例等との照らし合わせや既存制度との比較検討	B	
	(10) スキルアップのための研修会・勉強会等への参加	B	

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	値合計
0.5	0.5	0.5	1.0	0.5	0.5	1.0	0.5	0.5	0.5	6.0

（公約3）くらし・福祉・教育の充実

小中学校の給食無償化で子育て支援を



		検証	1年間の主な活動・取組内容，または，取り組めなかった事項と理由　等
住民参画	(1) 住民や地域との積極的な対話（ニーズの把握）	B	全国各地の学校給食無償化の先進事例を調査し、子育て世帯をはじめとする市民から上がっていた無償化を求める声をしっかりと後押しした。
	(2) 地域と行政・関係機関がツナガルための助言・支援	B	
	(3) 住民自治組織活動や地域活動など，まちづくりへの参加・実践	B	
情報共有	(4) 現場調査・現状確認，聞取り，先進事例等の調査研究活動	A	子育て世帯の経済的負担を軽減するため、早期に学校給食の無償化へ踏み出すべきだと、本会議等で一貫して強く質問・発信を行った。
	(5) 住民の疑問や地域の意見を反映した本会議や委員会での発言・行動	B	
	(6) 地域等における報告会の開催やSNS，チラシ・広報誌等による情報発信	B	
機能強化	(7) 一般質問等による政策や事業改善の提案	A	一般質問で取り上げてきたが、財政難を理由とする執行部に対しても粘り強く要望を続けた。国が行う小学校無償化を追い風に、本市独自で中学校まで含めた完全無償化の実現に導いた。
	(8) 議員間討論への積極的な参加，会派内での情報共有の徹底	B	
	(9) 各種計画書の分析，条例等との照らし合わせや既存制度との比較検討	B	
	(10) スキルアップのための研修会・勉強会等への参加	A	

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	値合計
0.5	0.5	0.5	1.0	0.5	0.5	1.0	0.5	0.5	1.0	6.5

公約に係る年間の議員活動・取組状況の検証と次年度の目標設定や課題の週出

くらし・福祉・教育の充実

国民健康保険税の値上げに反対

6.0

農業を守る

地域農業を守る。価格保障・所得補償の確立を求めます。

6.0

くらし・福祉・教育の充実

小中学校の給食無償化で子育て支援を

6.5

活動の一コマ

百姓一揆 広島 2025年11月24日

※昨年度に課題として掲げたことに対する取組や次期の活動目標など

市民団体と共に、物価高騰から暮らしを守る国保税の負担軽減や支援策を引き続き求めていく。
これまで訴えてきた「学校給食費完全無償化」を本市においては中学校まで実現できたことは、大きな成果であった。
また、農業では、2025年度の米価高騰で一時的に収入は増えたものの、2026年度産以降への不安は根強い状況にある。昨年11月は広島市、3月には三次市で行われた「百姓一揆」集会デモ等に連帯した。価格・所得補償の確立や小規模農家への支援を引き続き強く求めていく。

無断複製・転用はご遠慮ください。

三次市議会　議会運営委員会